

仕様書

技術戦略研究センター

1. 件名

デジタル社会の将来像検討のための技術開発課題等に関する調査

2. 目的

NEDOの技術戦略研究センター（以下、「T S C」という。）では、今後の技術戦略の策定における基軸とするため、2021年6月30日に将来像レポート「イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』¹」を公表した。その後、生成系 AI を始めとしてデジタル技術に関する技術が急速に発展していることから、上記の将来像レポートを起点として特にデジタル分野の技術発展によって将来実現が期待されるデジタル社会について、その将来像を描く取組みを行っている。

現在、T S Cにおいて、いくつかのデジタル社会の将来像を見出し、それらの具体化を進めているところであるが、今後、それらの将来像のイメージを詳細に描き、将来像実現に必要な技術開発課題を抽出する必要がある。そのためには、デジタル社会の具体的な将来シナリオを描いた上で、人工知能、ロボット、人間拡張、メタバース、IoT などの様々なデジタル技術が、シナリオ実現のために、今後どのように発展するかを検討する必要がある。

以上のことから、本調査では、現在急速に技術が進展している様々なデジタル技術の領域における中長期の時間軸に渡る技術開発課題の検討を通じて、デジタル社会の将来像を描くことを目的とする。

3. 内容

デジタル社会の具体的な将来像を描き、実現に必要な技術開発課題及びイノベーション事例を抽出するにあたり、「イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』」で提示した12の社会像のうち、「誰もが潜在能力を発揮し自己の理想を実現できる社会」、「誰もが無理なく働き続けられる社会」、「基幹産業・技術の創成による持続可能な社会」を検討の範囲として、以下の（1）から（5）の項目を実施する。なお、（1）及び（2）の項目については、各技術領域の詳細な調査レポートを作成する必要はなく、（3）以降の調査を進めるために必要となる概要レベルの資料でかまわない。

- （1） デジタル社会の構成に係る次の各技術領域の現状及び研究動向に関する情報収集・分析及びそれらを整理した要約の作成
 - （ア）人工知能
 - （イ）ロボット
 - （ウ）人間拡張
 - （エ）メタバース
 - （オ）IoT（データの収集、蓄積、活用等の情報基盤）
 - （カ）その他デジタル社会の将来像に影響すると考えられる技術領域
- （2） （1）の各デジタル分野の技術に関する中長期的な技術開発課題及びイノベーション事例の抽出
- （3） （1）～（2）で抽出した各技術開発課題及びイノベーション事例の分析によるデジタル社

¹ https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101449.html

会の将来像の具現化

- (4) (3) で描いたデジタル社会の将来像実現に必要な方策（開発・規制・施策等）の明確化
- (5) 具現化したデジタル社会の将来像に係るビジュアルイメージの作成

以上の取組みで得られた情報を取りまとめ、デジタル社会の将来像とその実現に向けた技術課題等を整理・明確化する。調査の方法としては、各種文献等の収集・分析や有識者・メーカ・ユーザ等へのヒアリング、必要に応じてワークショップの開催などを想定している。NEDOは、可能な限り有識者ヒアリング・ワークショップ等に参加する。

なお、12月中を目途として(1)、(2)及び(3)の各項目について、調査内容の方向性に関する中間報告を実施するものとする。

上記目的達成に向け、情報を補完する調査項目を追加することは妨げない。その他、NEDOから要請があった場合は、協議のうえ、可能な限り反映する。以上の実施内容について、NEDO担当者に対し対面又はメール等によりひと月に1回程度以上の進捗報告を行う。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2024年3月31日まで

5. 予算金額

2,000万円以下

6. 報告書

提出期限：2024年3月31日

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.NEDO.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会等における報告を依頼することがある。

以上